

暦

というわけで、アメリカ合衆国議会の中間選挙も終わり、トランプ大統領が負けたのか勝ったのか、どうにもはっきりしないようである。日本や世界にとって、アメリカの議会がねじれたことが良いことなのか悪いことなのかよくわからない。まあ、ドナルド トランプがアメリカ合衆国の大統領であることは、世界の多くの人にとって歓迎できることではなさそうであるが。

それはさておき、早くも年末である。「早くも」というところからして自分が歳をとったことの証明であるが、年末といえば暦／カレンダーである。以前ほどではないが翌年の暦を見ると、なんとなく気分が高揚するのである。特に 4 月末から 5 月初めにどれくらいの連休があるかで、その日の残りの時間を幸福に過ごせるかどうか決まる、というくらいである。

人間が農耕を行うようになると、暦は農作業などの適切な時期を知るための重要な道具となった。さまざまな文明でいろいろな暦が作られ、また、利用されてきたが、正確な暦を作ることは権力者の条件であり、証でもあった。では、現代の日本の暦は誰が作っているのか？

インターネットで検索すると、国立天文台が国際的に採用されている基準暦に基づいて、太陽・月・惑星の視位置をはじめ諸暦象事項を推算し、「暦書」として「暦象年表」を発行しており、その主要な項目を抜粋して毎年 2 月の最初の官報で翌年の「暦要項」を発表しているそうである。

2019 年の暦要項を見ると、日食が 1 月、7 月、12 月の 3 回（部分食、皆既食、金環食）あると

飄

々

広報委員

川野 豊一

書いてあるではないか。「これは」と意気込んで調べてみると、日本では 7 月の皆既食は見られず、1 月と 12 月に部分食が見られるだけらしい。では皆既食はどこで？

Google で検索したところ、チリやアルゼンチンだそうである。「ふうん」である。また、12 月にインドに行けば金環食が見られるらしいが、これまた「ふうん」である。お金に不自由するこちらとしては、日本で見られる部分食でがまんするしかないか。

蛇足：2019 年の GW は 10 連休になるらしいが、何しよう？

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)

TEL 0836 (34) 3424 FAX 0836 (34) 3090

[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>.

新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。